

アーバン・ハウジング・フォーラム

平成 29 年度第 2 回開催報告

平成 29 年度第 2 回アーバンハウジングフォーラムを下記の要領で開催しました。

～グリーン・インフラの都市とコミュニティへの展開～

緑地生態系が有する多面的な機能を都市空間に組み込んでいくグリーン・インフラの考え方が広まっております。とくに市街地においては、生態系の保全、景観の形成と、雨水流出抑制や酷暑緩和といった緑による環境調整との両立が期待されています。今回ハウジングニュース 20 周年記念号で「生態系サービスを基盤とした都市の社会－生態空間の再構築」という題でご執筆いただいた、東京都市大学の横田准教授をお迎えし、都市・流域レベルにおける複合的な生態系サービスの評価と緑地整備の指針について、国際的な動向を交えて紹介していただき、さらに、地区レベルのコミュニティによるグリーン・インフラの整備・活用方法についても、具体的な事例をもとに紹介していただきました。

記

テーマ:「グリーン・インフラの都市とコミュニティへの展開」

講 師: 東京都市大学 環境学部 環境創生学科 都市生態計画研究室 准教授 横田 樹広 様

日 時: 平成29年10月2日 (月) 15:00～17:00

場 所: 協会会議室 (参加者: 14名)



ご講演は

- 1 グリーンインフラ(GI)の多面性
- 2 地区・街区の空間計画における GI の展開
(海外先進事例をもとに)
- 3 都市・流域への GI の展開(国内における検討)
- 4 コミュニティによる緑地マネジメントにおける
GI の展開

のテーマに沿って行われ、具体的な取組みについて事例をあげて紹介いただきました。

講演の後、活発な質疑応答が行われ、有意義な時間を戴きました。

